



リーダー研修

**チーム・PJ 巻き込み力強化！
対人影響力&信頼関係構築力**

リーダー職やプロジェクトリーダーとしてご活躍中の皆さまを対象にしたより実践的なマネジメント力を身につけていただくプログラムです。
役割の再認識をはじめ、巻き込み力・信頼関係の構築・育成スキルなど、現場で求められる要素を具体的に学べます。

1. 開催日時 令和7年9月16日(火)9:30~17:00
2. 開催場所 平野通信機材(株) BCC会議室(中央区入船2-2-14)
3. 定 員 15名(最少開講人数5名)
4. 申込方法 <https://kanto.itca.or.jp/seminar/>
5. 受講料 会員価格 ¥13,800(税込) 一般価格:¥23,100(税込)



講師：小田部 隆（オタバ タカシ）

30年以上、OKIグループにて人財育成&人事・総務部門・マネージャーを歴任。数多くの人財育成&講師の経験・ノウハウをベースに2019年独立。講師実績は、OKIグループを主体に「新入社員から部長職」研修まで、数多くの研修を担当。その時代に求められる新しい事項に対しても研修内容に含め、受講者の受講状況に応じたファシリテーションを実践。現在においてもOKIグループに限らず、多くの企業から講師リピート要請有。

令和 7 年 7 月 吉 日

会 員 各 位

(一社)情報通信設備協会
関 東 地 方 本 部
教育委員長 永島 薫

リーダー研修のご案内 ～ チーム・PJ 巻き込み力強化！対人影響力&信頼関係構築力 ～

平素は関東地方本部の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
人材開発研修の充実を図ることを目的に、リーダー職に向けた研修を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

1. 受講対象者 職場&現場のリーダー職の方、プロジェクトリーダークラスの方、並びに今後リーダー職、プロジェクトリーダーを目指させる方
2. 研修目的 会社から求められている役割を理解した上で、部署やチームをマネジメントしながら成果を上げていくことが目的です。
以下の項目を中心に具体策を提示しながら参加者自ら落とし込みを行います。
①自ら一人で抱え込まず、他者を巻き込み業務を遂行する
②自己中心ではなく、他者と協働しながら、組織・チームで成果を出す
③上長・メンバー・後輩からの信頼関係を高める
④指示・命令だけではなく、今日に求められるリーダーシップを発揮できる
⑤後輩と共に成長し、適切な情報共有・指導・育成ができる
3. 開催日時 令和7年 9月 16日(火) 9:30～17:00
4. 場 所 U-AXISビル2階 (東京都中央区入船2-2-14)
5. 講 師 ホープフルラーニング 代表 小田部 隆
6. カリキュラム 別紙 カリキュラムをご参照ください。
7. 受講料 会 員 13,800円 (教材費・消費税込み)
一 般 23,100円 (教材費・消費税込み)
8. 定 員 15名 ※最小遂行人員数(5名)に満たない場合は中止となります。
9. 申込方法 ①**Web申込**となります。<https://kanto.itca.or.jp/seminar/>
必要事項を記入の上、8月8日(金)までにお申込み下さい。

②受講料は、開催決定連絡後に協会より請求書を発行いたしますので、指定日まで
に、お支払いください。

③開催決定通知を送付以降のキャンセル・返金対応は致しかねます。

10. 問合せ先 (一社)情報通信設備協会 関東地方本部 事務局
電話 03-5244-9700 FAX 03-5244-9711
kantokensyu@itca.or.jp 松島 ・ 谷中

「カリキュラム」

時 刻	内 容
9 : 3 0	0. アイスブレイク
1 0 : 0 0	1. 中核社員の役割・責任・期待 ・リーダー・中核社員に求められること ・複数人数で成果を出すために、何をするのか ・成果を出すために、メンバーとPDCAを回す ・自らへの期待と役割を具体化する
1 1 : 0 0	2. メンバーを巻き込み、協力・協働・協調を高める ・リーダーシップとは何か？ケースから考えてみる ・リーダーシップの8項目と自らをセルフチェック ・マネージャーとリーダーの違い ・チームで成果を出すために何が必要かを体感する ・メンバーへの巻き込み力を高める
※途中 60 分 昼食休憩	
1 4 : 0 0	3. チーム・プロジェクトで成果を出すためのエッセンス ・チームワークとは何か？ ・優れたチームの特徴 ・メンバーを率いてチームで成果を出すためのポイントを理解する ・信頼関係を高めることが成果を左右する、信頼関係を高めるために
1 5 : 0 0	4. 巻き込み力を高めるコミュニケーション法 ・職場のコミュニケーションを具体化する ・一方通行のコミュニケーションの怖さを体感する ・双方向コミュニケーションを体感する（傾聴ワーク） ・質問の重要性と詰問の怖さ
1 6 : 0 0	5. メンバーのやる気を高め、レベルアップする ・強制・恐怖型のマネジメントの怖さ ・自立型社員と指示待ち型社員 ・自立型社員を育成するために ・自立型社員育成法：アシスト技法を体感する
1 6 : 5 0	6. まとめ
1 7 : 0 0	※終了